



とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報

Vol.202
令和6年7月号

代表理事会長就任のご挨拶



時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、令和6年6月28日開催の当協会第3回理事会におきまして、代表理事会長に選任され就任いたしました。

当協会は、「売れるものづくりの支援」「生産者と消費者の信頼関係づくり」「県産農産物の紹介による販路拡大」を基本方針に、県及び関係団体の皆様の協力を得て、生産者支援や県産農産物PR、消費者・実需者との的確な情報の受発信、新たな販路となる輸出支援等、生産から流通・販売・消費までの対策を総合的に推進しています。

会員の皆様には、今後とも、県産農産物の生産振興、ブランド向上を図るため、これまで以上のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会
代表理事会長 国府田 厚志

第44回通常総会を開催

6月28日（金）に栃木県JAビルにおいて、第44回通常総会を開催しました。会員46名が出席し、令和5年度事業報告、財務諸表、定款の一部改正、役員を選任について審議が行われ、原案どおり承認されました。

議事終了後には、令和6年度“とちぎフレッシュメイト”を皆様にご紹介しました。

当協会としては、皆様方のご理解とご支援を賜りながら、国や県の施策等に十分対応し、また協会独自の取組を行うなど、昨年度以上に、県産農産物の生産振興とブランド向上に努めて参ります。



令和6年度とちぎフレッシュメイト 知事及び関係機関表敬訪問

6月17日（月）栃木県福田富一知事を表敬訪問し、「栃木県産の美味しい農産物をたくさん県内外の人にPRしてください。」と激励を頂きました。

メイト3名からは今が旬のJAはが野産「芳熟めろん」を贈呈し、「栃木県産農産物の美味しさや生産者の想いを県内外の消費者の方々に笑顔で伝えていきます。」と、意気込みを伝えました。

また、各メディアでは今後の抱負や活動予定などについてお答えました。



福田富一知事



とちぎフレッシュメイトは、県産農産物のイメージアップを図るため、元気に笑顔でPR活動をしていきます。

また、YouTubeでの動画配信や、当協会HPとちぎフレッシュメイト公式サイト等を活用して、県産農産物の美味しさや魅力を全国の皆様にお届けしていきます。

ぜひ、会員の皆様のお役に立てる機会を頂けますようお願い致します。



ラジオ生出演（CRT栃木放送・レディオベリーFM栃木）



下の写真は、「JAエルサポート・JAおやまプレゼンツ栃木ゴールデンプレース冠試合」で、農産物贈呈のプレゼンターや来場者へノベルティ・抽選券の配布など、初めて対応したイベントの様子です。



栃木県産農産物産地視察研修会を開催

6月21日（金）・22日（土）の2日間、JAなすの・栃木県開拓農協等の協力を得て、東日本旅客鉄道が運行する周遊型寝台列車「TRAIN SUITE 四季島」の池内総料理長とシェフの方に、県産農産物の利用促進及びイメージアップを図るため、産地視察研修会を開催しました。

当日は、とちぎ地域ブランド農産物「高原ほうれん草」「アスパラガス」「赤とん（トウガラシ）」「白美人ねぎ（ハウス軟白ねぎ）」や「チーズ工房」などを視察し、生産者と実需者との相互理解を深めました。

池内総料理長は、産地を実際に見て生産者と話し、「天候でねぎの辛味が違うから出荷に気を遣っている事や、アスパラガスに♂♀があり味の特徴がある事など、各生産者が一番美味しい状態を見極めて出荷していることを教えてもらえた。またチーズ作りではご夫妻の得意チーズが違うことや苦労など、貴重な情報を得ることも出来ました。生産者気持ちを伺うことで、我々料理人は、大切なお客様に喜んでもらえるメニューが作れるんです。」と話していました。

今後も四季島のお客様に、県産農産物で列車の旅を楽しんで頂きたいです。



「高原ほうれん草」
栃木県高冷地野菜生産者協議会
金田美枝 会長



「アスパラガス」
JAなすの アスパラ部会
郡司勝典 会長



「白美人ねぎ」
（ハウス軟白ねぎ）
JAなすの ねぎ部会
渡邊一浩 部会長



「赤とん（トウガラシ）」
JAなすの赤とん部会
部会員 八木澤敬一



出荷時期（1月～3月）
の「赤いとうがらし」



花き部会全体会議を開催

6月6日（木）、当協会花き部会はJAビルで全体会議を行い、各研究会長、県・全農及びJA花き担当者、農業振興事務所担当者等37名が出席し、今年度の事業に係る検討を行いました。

6年度は、品目を変えた立毛共進会や栃木県花の展覧会等を開催することとし、7年度以降の展覧会等は、①栃木県花の展覧会は毎年実施すること、②立毛共進会もこれまで同様に行うが、鉢物の実施時期を見直すこと、③生産者大会は隔年開催にすること、等を確認しました。



とちぎのりんどう

『とちぎりんどう展』を開催

6月21日（金）から6月30日（日）までの10日間、花き部会りんどう研究会は栃木市のとちぎ花センターで「とちぎりんどう展」を開催しました。

栃木県が開発し県内で広く生産されている「るりおとめ」や日光ブランドの「日光みやび」、那須ブランドの「那須の青空」等、10種類190本のりんどうを展示しました。

8月のお盆向けの「るりおとめ月あかり」や、日光地区からは珍しい品種の「ブルーピコティー」など、青紫・白・淡いピンクやブルー等の多彩な県産りんどうが、初夏の爽やかな雰囲気醸し出していました。



りんどう研究会の現地検討会及び総会を開催

6月7日（金）、当協会花き部会りんどう研究会は、日光地区の2生産者ほ場で現地検討会を行い、生産者及び関係機関から30名が参加しました。

ほ場視察後は、JAかみつが日光営農経済センターで、消毒や病気への対応、品種による対応等、管理全般についての意見交換・情報共有を行いました。

午後は総会を行い、今年は5年ぶりに先進地視察研修会を開催することとし、10月に秋田県で予定されている「りんどうサミット」に参加すること等を確認しました。



花咲くとちぎ推進協議会総会の開催

6月6日（木）、花咲くとちぎ推進協議会はJAビルで総会を行い、花き生産者・消費者・関係団体等の代表者で構成される23名の委員と事務局7名が参加し、令和5年度事業並びに決算報告、令和6年度事業計画等を協議し、承認されました。

6年度は、NHKとちぎ630での花き紹介や各展覧会への協賛を行うことに加え、昨年実施した生花店での県産花きPRの取り組み等を引き続き実施するとともに、各研究会の活動（飾花展示やPR、視察研修会等）への支援等を行うこととしました。



栃木県花き振興協議会総会の開催

6月27日（木）、栃木県花き振興協議会は県庁会議室で総会を行い、花き生産者・生花商組合・花き市場・JA全農とちぎ等関係機関の代表者で構成される7名の役員と事務局6名が参加し、国の「ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」事業に関する令和5年度事業並びに決算報告、令和6年度事業計画についてを協議し、承認されました。

今年度は、花き流通の効率化としてスプレーマムの出荷箱統一の実証試験を行うとともに、生産性の向上に向け、遮光処理や緑色LEDによる技術実証試験を予定しています。

また、「さんフェアとちぎ2024」（専門高校等の生徒による学習成果発表の祭典）が10月に栃木県で開催されることから、JA全農とちぎと花き振興協議会で全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト部門で使用する花材を提供することや、ブースを出展し県産花きをPRすることとしました。

かんぴょう現地検討会を開催

6月25日（火）、当協会特産部会かんぴょう専門部及びJAうつのみや干瓢専門部は、南河内地区の2生産者ほ場で現地検討会を行い、生産者・JA・関係機関等から17名が参加しました。

新型コロナウイルスの影響で5年ぶりの開催となった現地検討会では、かんぴょうが実をつけ収穫時期を迎えた南河内地区の木村氏・川田氏のほ場を見学し、生育管理・作業管理等について意見交換を行いました。

ほ場視察後は、JAうつのみや南河内営農経済センターで排水管理・追肥・病害虫防除等全般について総合検討を行うとともに、関係機関から情報提供をしました。

検討後は、農作業の負担を軽減するマッスルスーツを試着し、着心地や効果、機能性を確認しました。





野菜部会全体会議を開催

6月19日（水）当協会野菜部会は、JAビルにおいて各地域の野菜関係部会長及びJA担当者・関係機関・団体など27名が出席し、全体会議を開催しました。全体会議では、令和5年度の活動報告及び令和6年度の事業計画を協議し、承認されました。

また役員改選を行い、新たにJAおやまきゅうり部会の大島一仁氏が部会長に就任しました。

当協会としては、野菜生産の維持・拡大・技術の高位平準化を支援するほか、メニューフェア等の開催やSNSの活用を通し、県産野菜のPRに取り組んで参ります。



第41回栃木県肉用牛総合共進会説明会を開催



6月17日（月）当協会は、JAビルにおいて栃木県における肉用牛の経済能力の向上、斉一化を推進するとともに、栃木県産肉牛「とちぎ和牛」の声価を高め、更なる肉用牛経営の安定化を目指し、第41回栃木県肉用牛総合共進会の説明会を開催しました。

今回は、肥育の部65頭（黒毛和種45頭、交雑種20頭）、種牛の部は生産農家49頭、高校生の部6頭の出品に向け、関係機関やJAへ依頼しました。

肥育の部は交雑種11月28日、黒毛和種11月29日、種牛の部は12月11日に開催します。



とちぎの花でスマイルアップ in NHK（6月分）

6月は、薄紫の小さく可愛い花が初夏を涼しく彩ってくれるハイブリッドスターチス、大輪で白・淡いピンク・淡いグリーンの花弁が気高く美しいトルコギキョウ、濃い青紫が初夏の爽やかさを醸し出すりんどう、3品目の花を紹介しました。



6/7 ハイブリッドスターチス
齋藤 享子氏(さくら市)



6/14 トルコギキョウ
榎田 小汰郎氏(足利市)



6/28 りんどう
平山 和彦氏(那須町)

7月に紹介する県産花きは、以下のとおりです。

- 7/5（金）カリブラコア ～上都賀地区～
- 12（金）スプレーマム ～芳賀地区～
- 19（金）高校生（矢板東高等学校）によるフラワーアレンジメント
- 26（金）ひまわり ～下都賀地区～



カレーフェスティバル



i n 農産物直売所あぜみち西川田店



7月7日（日）(株)グリーンデイズ主催で、「カレーフェスティバル」i n 農産物直売所あぜみち西川田店が開催されました。当日は、県内飲食店やキッチンカーなど8施設が出店し、県産野菜などを使用したこだわりのカレーを販売しました。

当協会は、炊き立てのしゃき！ぱりっ！ぶりっ！のカレーにぴったりの「とちぎの星」を約1,200食配布しました。

来場者からは、「大粒で弾力があり粒感を感じました。カレーもお米もとっても美味しかった。」など好評の声が多数聞こえてきました。

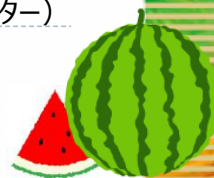


— 新規とちぎの旬彩店 —

店舗名	住所	電話番号/HP	代表者
麻 希	塩谷郡高根沢町宝積寺 2285-8		加藤 啓二

◆ ◆ ◆ 7月の予定 ◆ ◆ ◆

2日(火)	スプレーム研究会 全国ナシ研究大会実行委員会	(全農とちぎ生活部) (JAビル)
4日(木)	東武食品サービスとの情報交換会	(JAビル)
7日(日)	カレーフェスティバル	(県内)
11日(木)	全国ナシ研究大会栃木県大会	(総合文化センター)
12日(金)	全国ナシ研究大会栃木県大会 芳賀地方花き振興協議会 表彰式・総会等	(日光市) (芳賀農振)
19日(金)	鉢物研究会、現地検討会	(県内北部)
26日(金)	輸出促進会議	(総合文化センター)
29日(月)	第15回いちご王国グランプリ表彰式 「いちご王国・栃木」戦略会議	(栃木県庁) (栃木県庁)



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会 (令和6年7月発行)
 TEL: 028-616-8787 FAX: 028-616-8715
<http://www.tochigipower.com/> 「カラダにとちぎ」で検索